

平成 24 年度

事業計画書

公益財団法人 三重県水産振興事業団

平成24年度事業計画

・目的

水産業に関わる社会的、経済的基盤の整備開発及び漁業経営の安定に係る事業を推進し、もって時代の要請に即応した安全で安心な水産物を安定的に供給すること、並びに水産業の健全な発展を図るとともに地域経済に寄与することを目的とする。

・法人を取り巻く経営環境

外部環境要因として、債券の低金利状況の継続、行政機関の財政逼迫による補助金削減、漁協合併等による種苗要望数の減少、漁協経営の悪化、燃料、餌料等価格の高騰による生産コストの増大があり、さらに、内部環境要因としては、種苗生産施設の老朽化に伴う修理、改修費の増大、新規種苗魚種への対応、基金運用の安定化を図る償還期限の分散化の実施などがある。

・事業の一覧（公益目的事業）

1．水産種苗生産供給事業

県民に安全で安心な水産物を安定的に供給するため、水産動植物の種苗生産、中間育成、放流、放流効果調査等の事業及び栽培漁業に関する普及啓発を行う事業

2．水産生物量産化技術試験事業

種苗生産の量産化にあたり技術的な課題のある魚種について技術開発試験を行う事業

3．水産振興対策事業

水産生物の種苗放流や中間育成、漁場、漁法の開発等を実施する市町、漁業団体や経営の安定化や事業の効率化を図る漁業協同組合に対して助成を行う事業

4．啓発普及事業

栽培漁業を推進するため水産業の調査、啓発普及に関する事業

5．資源増大実証事業

水産動植物の種苗生産、中間育成、放流の有効性を明らかにするため、食害を受けないサイズまで中間育成し放流する。また、市場で水

揚げされた放流魚の混入率を調査し、効果を調査する事業

6. 伊勢湾栽培漁業推進事業

伊勢湾地域において、公共的団体である漁業協同組合が行う種苗生産、放流事業に助成するほか、当法人が実施する大量放流用種苗の中間育成や栽培漁業の推進に関する新たな技術課題の試験を実施する事業

7. 伊勢湾水産振興事業

伊勢湾地域において水産資源の維持増大を図るため、放流及びその効果調査、安定的な漁業経営の育成対策、海域の水産動植物の生息域の保全及び改善に関する事業

. 事業の内容

1. 種苗生産供給事業【予算額 178,984 千円】

1) 種苗生産事業

(1) 三重県栽培漁業センターにおいて、県から委託されたヒラメ、トラフグ、クルマエビ、ヨシエビ、ナマコの種苗生産を行い、県からの指示により種苗を供給します。

三重県栽培漁業センター【予算額 65,975 千円 県委託費 65,975 千円】

県 委 託 事 業				
ヒラメ 30mm	トラフグ 20mm	クルマエビ 17mm	ヨシエビ 17mm	ナマコ 7mm
20万尾	15万尾	210万尾	225万尾	3万尾

(2) 三重県尾鷲栽培漁業センターにおいて、県の補助事業として、アワビ、マダイ、トラフグ、カサゴを種苗生産します。

三重県尾鷲栽培漁業センター【予算額 83,451 千円 県補助金 10,560 千円】

県 補 助 事 業					
アワビ 15mm	アワビ 25mm	アワビ 30mm	マダイ 30mm	トラフグ 20mm	カサゴ 50mm
32万個	15万個	20万個	60万尾	20万尾	12万尾

2) 種苗供給事業 【予算額 29,558 千円】

栽培漁業センターで生産された種苗や試験生産された種苗等を要望のある市町、漁業協同組合等に供給します。

2. 水産生物量産化技術試験事業【予算額 51,053 千円】

1) マハタ種苗生産技術開発事業

(1) マハタ飼育試験事業【予算額 16,250 千円】

マハタ種苗生産については水産研究所から基礎技術の移転を受けたが、引き続き量産化のための技術開発を進め、生産の安定化に努めるとともに、中間育成試験を実施し、生産された種苗を要望のある魚類養殖業者に配布することによりマハタ養殖の普及を図ります。

(2) 養殖種苗の健苗性向上による高品質化事業(県補助)【予算額 1,000 千円】

マハタ種苗の量産化では、ウイルス性神経壊死症(VNN)と形態異常魚対策が大きな課題となっています。VNNについてはワクチンの市販が予定されており、対応できそうですが、形態異常については発生要因の解明が遅れています。そこで、引き続き水産研究所と共同で原因究明を行うとともに効率的な選別手法を開発し、養殖マハタのブランド化に欠かせない良質種苗の供給に努めます。

2) アコヤ貝等種苗生産・飼育管理試験事業

(1) 新品種アコヤ貝現場実証試験事業(国委託)【予算額 2,287 千円】

三重県、三重大学、近畿大学、三重県真珠養殖連絡協議会が平成 22 年から実施している共同研究に引き続き参画し、閉殻力のみを指標にする親貝選抜手法の有効性を生産した貝の養殖特性等から検証します。

(2) アコヤ貝種苗生産飼育試験事業【予算額 3,425 千円】

JST のスーパーアコヤ開発事業で開発された新しい選抜手法を用いて国産貝で優秀な親貝を選抜し、アコヤ貝の種苗量産化試験を行います。

生産目標 アコヤ貝 100 万個

(3) アコヤガイ生産技術移転・系統保存管理事業(委託)【予算額 2,000 千円】

白化真珠が発生した問題から、現在、白色系アコヤピース貝の生産は中止しています。このため、県水産研究所は原因究明を含め、品種改良のための交配試験を実施しておりますが、この中で、事業団は「みえの真珠養殖再生支援協議会」からの委託により試験貝の飼育管理業務を行います。

3) クルマエビ類早期採卵技術開発事業(国委託)【予算額 2,500 千円】

クルマエビ、ヨシエビの天然資源を再生・回復させるため、三重県、愛知県、養殖研究所が共同で実施している本事業に参画し、昨年に引き続き、親エビ養成技術の開発と開発した技術の実証のため試験放流を行います。

4) 栽培・養殖漁業技術開発試験事業(県委託)【予算額 18,761 千円】

東紀州活性化の重要な素材で養殖業界からも強い要望のあるマハタ種苗や海域環境の変化等で資源の減少がみられるアワビ、アサリ、ナマコ等について、種苗供給の安定化を促進するため、県の委託を受け、昨年度に引き続き、下記に示した新しい中間育成技術や省エネルギー技術の開発試験に取り組みます。

(1) マハタ養殖用種苗の形態異常対策試験

マハタ種苗(4~6cm)の中間育成は伊勢湾南部中間育成施設と尾鷲栽培漁業センターで実施していますが、両施設での過去2ヶ年の試験を通して、低密度飼育の有効性が示唆されました。そこで、有効性を検証するため、両施設で更に低密度での飼育を行い、通常飼育群と形態異常率、成長、生残率を比較します。

(2) 大型水槽でのアサリ稚貝飼育管理試験

伊勢湾北部中間育成施設(鈴鹿市白子)の水槽の遊休期間を利用して、底質にカキ殻粉碎ペレットを添加した大型水槽を用いてアサリ稚貝の中間育成試験を行い、冬季の成長、生残率、水質等のデータを収集し、カキ殻ペレットの成長促進効果を調べます。

(3) 紫外線殺菌海水と海洋深層水を用いたアワビ種苗生産試験

近年、メガイアワビに生産不調の傾向が見られます。原因は不明ですが、紫外線殺菌海水を使えば防げることが小規模試験で示されました。そこで、本年度は生産用の10トン水槽を用いて実用規模での比較試験を行い、紫外線殺菌の有効性を実証します。併せて、近年の不調が飼育用水に起因している可能性が高いことから、清浄性の高い海洋深層水の利用についても検討します。

(4) LEDで培養した餌料のアコヤガイ幼生に対する栄養価の評価試験

平成22、23年度にLEDを用いてアコヤガイの餌料となる藻類の培養試験を実施し、従来の蛍光灯に替えて十分使用でき、省エネにつながる事が分かりました。ただし、アコヤガイの幼生に対する栄養価を確認していないため、幼生飼育の段階でLEDで培養した餌料を使うことができません。そこで、今年度は幼生に対する栄養価を評価し、アコヤの種苗生産に一貫して使えるかどうかを検討します。

(5) 稚ナマコの効率的な飼育技術の開発試験

ナマコの種苗生産では、着底直後の稚ナマコ(T.L0.3～3mm)用の市販配合飼料が無く、付着珪藻や浮遊珪藻を培養して給餌していますが、着底初期に水槽内に常時浮遊珪藻が繁茂した状態(ブラウンウォーター)で飼育することができれば、稚ナマコの生残、成長が向上する可能性があります。そこで、浮遊珪藻を維持できるよう最適な栄養塩の種類とその施肥量および稚ナマコの栄養塩に対する耐性を調査し、この飼育方法の有効性を検討します。

5) ヒロメ配偶体維持管理事業(県委託)【予算額 400 千円】

県は東紀州活性化の一環として、ヒロメの特産品化を図るための事業を実施しています。尾鷲栽培センターでは昨年度に引き続き県の委託を受け、陸上水槽においてヒロメ配偶体の飼育管理を行います。

6) 広域種資源造成支援事業(国補助)【予算額 4,230 千円】

広域に回遊する魚種の資源造成が円滑に行えるよう昨年度、太平洋南海域栽培漁業推進協議会(千葉県～宮崎県)が設立されました。静岡・愛知・三重の3県はここに所属し、共同でトラフグを対象に資源造成事業を行っています。この中で、当事業団は昨年度と同じく10万尾を種苗生産し、8万尾程度を放流することにしております。

7) ヒジキ人工種苗培養管理事業(県委託)【予算額 200 千円】

魚類養殖業が盛んな三重県南部の活性化を図る目的で、県は「南部地域での養殖業振興活性化事業」を本年度から実施することになり、事業内容に三重県産ヒジキの養殖技術開発が含まれています。その中で事業団は水産研究所の委託を受け、人工採苗したヒジキの種糸の培養管理を行います。

3. 水産振興対策事業【予算額 4,100 千円】

1) 外海域水産振興事業【予算額 4,100 千円】

沿岸漁業の水産資源の維持増大を図るため、漁協等が実施する種苗放流事業や県が整備した浮魚礁の管理に助成します。

2) 漁協経営再編基盤強化事業

三重県委員会で承認された三重県漁協系統基盤強化スキームに沿って、資金の後年度負担金として関係各機関から徴求します。

4 . 啓発普及事業【予算額 2,500 千円】

栽培漁業の円滑な推進を図るため、伊勢湾栽培漁業推進協議会及び三重外海域栽培漁業推進協議会を開催し、放流用種苗の中間育成、放流場所、放流効果把握等に関する事項を協議します。

水産物消費拡大促進協議会等の県民への魚食普及活動に協賛助成するとともに、県民や児童による種苗放流への支援、研修会や広報誌、ホームページ等を通じて、関係者へ水産生物資源の維持増大の重要性について情報の提供を行います。

5 . 資源増大実証事業【予算額 33,199 千円】

1) 地域展開促進事業【予算額 21,460 千円】

栽培漁業センターで生産したマダイ種苗 60 万尾を 3 ヶ所で 60mm サイズまで中間育成し、伊勢湾口海域から三重外海域に放流します。

また、放流による効果把握のため、県機関の指導のもと、関係者の協力により、主要市場における漁獲調査、価格調査及び混入率等の調査を実施します。

2) 特定海域展開事業【予算額 3,961 千円】

栽培漁業センターで生産したヒラメ種苗 20 万尾を 2 ヶ所で 70～80mm サイズまで中間育成し、伊勢湾海域から三重外海域に放流します。

また、放流効果を把握するため、主要市場で漁獲調査、混入率等の調査を実施します。

3) 資源回復計画促進事業【予算額 7,778 千円】

栽培漁業センターで生産したトラフグ種苗 35 万尾を 4 ヶ所で 50～60mm サイズまで中間育成し、伊勢湾海域から三重外海域に放流します。

また、主要市場で漁獲調査、混入率等の調査を実施します。

6 . 伊勢湾栽培漁業推進事業【予算額 46,793 千円】

1) 伊勢湾海域生物中間育成事業【予算額 43,578 千円】

伊勢湾北部中間育成施設において、クルマエビ種苗 70 万尾、ヨシエビ種苗 235 万尾およびガザミ種苗 170 万尾を中間育成し、関係者の協力を

得て適地に放流します。また、伊勢湾南部中間育成施設では、ヒラメ種苗 12 万尾、トラフグ種苗 15 万尾、クルマエビ種苗 140 万尾を中間育成し、関係者の協力を得て伊勢湾内に放流します。なお、北部で収容仕切れない 60 万尾のヨシエビについては、防疫の観点から栽培漁業センターでの中間育成を検討します。

2) 伊勢湾海域資源増大事業【予算額 2,210 千円】

伊勢湾海域の水産資源の維持増大を図るため、漁協等が実施する種苗放流等の資源増大事業に助成を行います。

3) 伊勢湾資源調査試験事業【予算額 1,005 千円】

伊勢湾海域の水産資源の増大策や海域環境の保全策等の検討の一環として、アサリ未利用稚貝有効活用のための飼育試験や稚貝の冬季中間育成の実用化試験を行うほか、伊勢湾内における疾病感染状況調査等を水産研究所に委託して実施します。

7. 伊勢湾水産振興事業 【予算額 221,977 千円】

1) 海域環境対策事業【予算額 15,051 千円】

伊勢湾海域の環境保全を図るため、流木等ゴミ被害対策や底質改善事業などに助成するほか、藻場・干潟の再生や環境保全の啓発普及活動等に助成します。

2) 水産資源管理増大事業【予算額 21,028 千円】

伊勢湾海域の水産資源管理や資源増大を図るため、重要貝類の種苗放流や資源管理対策事業等に助成するほか、資源保護に必要な漁場造成等に対して助成します。

3) 漁業経営安定対策事業【予算額 185,898 千円】

漁業経営の安定化を図るため、伊勢湾内の漁協等が実施する各種の共同利用施設等の整備に助成します。

平成24年度 収支予算書

(単位：千円)

科 目	平成24年度 当初予算額	平成23年度 当初予算額	増 減
一般正味財産増減の部			
経常増減の部			
経常収益			
基本財産運用益	50,258	50,373	-115
基本財産（振興）受取利息	21,361	21,404	-43
基本財産（栽培）受取利息	18,645	18,695	-50
基本財産（伊勢湾）受取利息	10,252	10,274	-22
特定資産運用益	27,354	26,348	1,006
特定資産受取利息	27,354	26,348	1,006
事業収益	145,587	149,921	-4,334
委託事業収益	93,123	101,716	-8,593
生産物等収益	52,464	48,205	4,259
受取補助金等	13,175	18,064	-4,889
受取地方公共団体等補助金	13,175	18,064	-4,889
受取負担金	22,080	20,680	1,400
受取負担金	22,080	20,680	1,400
雑収益	972	1,124	-152
受取利息	972	1,124	-152
雑収益	0	0	0
経常収益計	259,426	266,510	-7,084
経常費用			
事業費	513,796	501,414	12,382
役員報酬	3,850	3,850	0
給料手当	92,747	91,825	922
賃金	33,500	36,196	-2,696
退職給付費用	7,942	7,773	169
賞与引当金繰入額	6,200	6,033	167
福利厚生費	17,803	16,500	1,303
会議費	50	50	0
旅費交通費	1,638	1,679	-41
通信運搬費	1,236	1,131	105
減価償却費	3,800	8,350	-4,550
備品費	788	750	38
消耗品費	15,098	13,414	1,684
修繕費	2,650	1,800	850
印刷製本費	390	290	100
燃料費	5,905	5,674	231
光熱水料費	31,488	33,049	-1,561
借損料	4,622	5,904	-1,282
原材料費	2,048	1,395	653
餌料費	17,415	18,013	-598
種苗費	20,880	23,172	-2,292
新聞図書費	100	150	-50
図書購入費	30	30	0
租税公課	6,299	6,104	195
保険料	746	746	0
会費	45	45	0
助成金	224,500	177,125	47,375

科 目	平成24年度 当初予算額	平成23年度 当初予算額	増 減
負担金	1,185	1,085	100
委託費	8,287	37,192	-28,905
研修費	100	100	0
手数料	2,354	1,889	465
雑費	100	100	0
管理費	5,000	5,000	0
役員報酬	350	350	0
給料手当	2,014	2,000	14
賃金	450	450	0
福利厚生費	390	520	-130
会議費	300	300	0
旅費交通費	466	461	5
通信運搬費	100	100	0
消耗品費	152	110	42
印刷製本費	150	150	0
借損料	134	134	0
図書購入費	10	10	0
保険料	30	30	0
会費	155	155	0
負担金	180	80	100
研修費	30	30	0
手数料	20	20	0
雑費	69	100	-31
経常費用計	518,796	506,414	12,382
評価損益等調整前当期経常増減	-259,370	-239,904	-19,466
特定資産評価損益	0	0	0
投資有価証券評価損益	0	0	0
投資有価証券売却益	0	0	0
評価損益計	0	0	0
当期経常増減額	-259,370	-239,904	-19,466
経常外増減の部			
受取負担金	180,000	180,000	0
経常外収益計	180,000	180,000	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	180,000	180,000	0
当期一般正味財産増減額	-79,370	-59,904	-19,466
一般正味財産増減期首残高	-561,338	-488,048	-73,290
一般正味財産期末残高	-640,708	-547,952	-92,756
指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益	0	0	0
特定資産評価損益	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	4,678,156	4,560,054	118,102
指定正味財産期末残高	4,678,156	4,560,054	118,102
正味財産期末残高	4,037,448	4,012,102	25,346

(注) 借入金最高限度額 50,000,000円

平成 2 4 年 度 収 支 予 算 内 訳 表

(単位：千円)

公益目的事業会計

Table with 24 columns: 科目, 種苗生産供給事業 (H24初, H23初), 水産生物量産化技術試験事業 (H24初, H23初), 水産振興対策事業 (H24初, H23初), 啓発普及事業 (H24初, H23初), 小計(漁業振興基金) (H24初, H23初), 資源増大実証事業 (H24初, H23初), 伊勢湾栽培漁業推進事業 (H24初, H23初), 伊勢湾水産振興事業 (H24初, H23初), 公益目的事業会計合 (H24初, H23初), 法人会計 (H24初, H23初), 内部取引 (H24初, H23初), 合計 (H24初, H23初). Rows include: 一般正味財産増減の部, 経常増減の部, 基本財産運用益, 特定資産運用益, 経常費用, 管理費, 経常外増減の部, 正味財産期末残高.